

# 心の絆・親父の背中

屯田防犯パトロール隊隊長  
北海道ハーレー警ら隊副隊長兼事務局長

まつい あつとし  
松井 敦利

札幌屯田防犯パトロール隊（通称「とんぼ隊」）・北海道ハーレー警ら隊を立上げ、日々「地域の安全安心」・「絆づくり」のために奮闘しております松井と言います。

私たちが子どもころ、地域の知らないおじさん・おばさんが「もう遅いから帰りなさい」とか「危ないからやめなさい」なんて言ってくれたもので、地域には必ずおっかない名物おじさんなんかがいちたものでした。しかし、それは自然と大人が子どもたちを見ていてくれた環境があったのだと思います。

私は、貧乏サラリーマンの家庭で育ちまして、当時は、隣近所が協力し合って生活しており、たとえ貧乏でも、心は豊かであったように思います。

「今日はうちで風呂を沸かすから皆いらっしやい。」「じゃあ明日はうちで風呂沸かすわ。」

学校関係でも、父兄が協力して子どもたちのためにグラウンドにスケートリンクを作ったり、近所中が家族のように協力し、助け合って生きていましたし、私は子どもながらに、心のつながりのある環境の中で育ってきました。



屯田小学校での防犯教室の様子

学生時代、先生から「働く」ということは、「ハタ」が「ラク」になることだと教えられました。つまり、人のためになるということでもあります。そして、人はなぜ働くのか？ということとは、「人間は一人では生きられない。仕事というのは、自分が生きていられる恩返し。社会に対する奉仕活動で、その報酬として給料がもらえる。」と教わりました。

社会の一員としての役割を果たし、誇りを持って仕事をしていたものと思います。

しかし、今の時代そのような事を教えてくれる先生も少なくなり、実際子どもたちにも「なぜ仕事をする？」って聞いてみると、ほぼ全ての人が「自分の生活の為」とか、「小遣い欲しいから...」なんていう寂しい答えであります。

私は、長男坊が中学校在学中、PTA 会長を3年間務めさせて頂きましたが、そこで考えさせられたことの多いこと。

「おやじ狩り」という言葉が飛び出し、それから大人たちは、「へたに注意すると逆にやられちゃう」という風潮が広がり、注意できない大人が増え、隣に誰が住んでいるのかわからない社会となり、何度もリセットできるゲームがはやり、携帯電話を学生が持つようになり、核家族化が進み、家族の絆や役割分担が無くなり、家では昔、家長と言われたお父さんの権限が無くなり、責任転嫁する大人が増え、先生の愛のむちが「体罰」と言われ、親は親としてのしつけもできず何でも学校のせいにし、先生はサラリーマン化し、不登校と言われる生徒が増え、けんかも昔は一対一が基本であったが、今は集団対一人。それも、陰湿ないじめの

## 安全・安心に暮らせるまちを目指して

多い事…。PTA 活動でも、自分の子どもを学校に預けているにも関わらず、逃げ回る親の多いこと。そのくせ何かあるとすぐに学校のせい。等々…言い出せばきりがありません。

在任中、何度か研修会等を開催しましたが、「自分の子どもとどう接して良いのかわからない」という親が実に多いこと。かと思えば、大型店の店長さんから幾度となく電話がきまして、その内容というのは、「万引きする子どもも悪いけど、親どうにかなんないか?“親”」という内容です。

万引きした子どもの親を呼んだ際、「お金払えばいいんでしょ!」とか「うちの子どもばかりじゃないじゃないですか!」「忙しいんですから!」というあきれた対応なのだそうです。

こんなんでは日本の将来どうなってしまうんだろう?!

私の子育て法は、「親父の背中を見せる」ということであります。仕事も奉仕活動も遊びも、全てにおいて一生懸命やっている姿を見せる。なぜ一生懸命なのかというと、恥ずかしい話ですが、私の一生を通じてのテーマは「男になること」なのであります。

どうなったら男であるということもないし、到底これで良いということもないのでありますが、一生を通じどれだけ“男”に近づくことができるか。

そして、「死ぬ時は笑って死にたい。」

笑って死ぬためには、まずは悔いを残さない。悔いを残さないためには、その日その時を一生懸命生きないとならないのであります。

自分自身の成長のため、親父の背中を見せるために一生懸命に生きる。そして、商売を始めて20年。地域にお世話になり、業界の諸先輩にお世話になり、多くの方々にお世話になり、これまで商売を続けて来られたせめてもの恩返しをしたい。そして、PTA 活動等を通じ不安に感じたことが、何とか良い方向に向けられないものだろうか? 現代と昔では何が違っているのか? 人としての基本

である“心”なのではないか。私が育った子どものころのように、地域が家族のように、助け合って生活していた「心の絆」を育てる事ができないものか?

そんな思いで形となったのが『札幌屯田防犯パトロール隊』屯田の“とん”防犯の“ぼ”をとって、通称『とんぼ隊』なのであります。



とんぼ隊のロゴマーク

地域の安全安心というのは、社会の基本であり、全ての人が望むこと。私にとっては、活動を通じ、地域に対する恩返しと共に、自分自身を成長させ、子どもに親父の背中を見せることができ、昔の地域のおじさんとして積極的に子供たちや住民に声を掛けることにより、大人と子ども、地域住民の心と心の絆作りができ、住民の連帯感が犯罪抑止につながって行くのではないか! 一石何鳥もの発案でありました。

とんぼ隊は、入隊金・年会費を払って、制服を買っ



防犯パトロール活動

でも参加する地域有志の集まりで、どこにも縛られる事無く、自由にさまざまな活動を展開しております。不審者に思われぬように、そろいの制服を身にまとい、積極的に子どもたちや住民に声を掛ける。その子どもたちが大人になった時に、今度はこの地域を守ってくれる。そう信じ、通常のパトロール活動の他、防犯講話をはじめコンビ二強盗訓練・護身術訓練・防犯パレードやCネット会議を利用した防犯サミット。小中学校や保育園での防犯イベントや見守り活動。防犯に限らず、地域安全安心という観点から交通・防災活動にも活動範囲を広げております。

3年前からは、屯田地区除雪マルチ共同企業体にも協力を依頼。除雪業務期間中、除雪作業車にとんぼ隊のステッカーや防犯旗を付け、防犯活動も兼ねて除雪業務を行ってもらう他では無い活動を行ったり、昨年は「屯田地域が家族のように!」という言葉通り、地域のお兄さんお姉さんの立場である有朋高校にパトロール隊結成をお願いし、有朋高校生徒によるパトロール隊を立上げていただき、とんぼ隊と共に活動が始まりました。



有朋高校のパトロール隊発隊式

そのような活動が評価され、これまで北海道知事、道警本部長、全防連、道防連、日本損害保険協会、北警察署長からそれぞれ賞を頂き、昨年10月には“内閣総理大臣賞”(全国10団体)の荣誉に輝き、首相官邸において麻生内閣総理大臣より「安全安心まちづくり関係功労表彰」を受賞して参



首相官邸での表彰式  
2列目右が筆者

内閣総理大臣賞



りました。

単に、防犯のために始めた活動ではない。心と心の絆づくりから始めたこと。このような活動を広く広められれば...との思いから、趣味であるハーレーダビッドソンでもこのような活動ができるのではないかと、ハーレー愛好家に声を掛け、立ち上げたのが『北海道ハーレー警ら隊』であります。ハーレーに乗れるのも、目に見えない多くの方々のお陰。ハーレーを通じ社会に恩返ししようという志のあるライダーの集まりであります。

とんぼ隊の活動範囲は、屯田地域に対してですが、北海道ハーレー警ら隊の活動範囲は、北海道全域でありますし、目的も「防犯活動」「交通安全活動」「青少年健全育成活動」を3本柱とし、目立つハーレーを利用して、その活動もそれぞれさまざまな形でできる訳であります。

北海道ハーレー警ら隊の活動を広げるために、昨年春に函館、秋には旭川でも立ち上げ、警察にまねて、それぞれ「方面警ら隊」と称して、道内3方面での活動が始まりました。

昨年は、道内各地に出向き、防犯・交通イベントやパレード、振り込め詐欺撲滅イベント等を行い、北海道洞爺湖サミットでは、5月中旬からサ

## 安全・安心に暮らせるまちを目指して

ミット終了の7月9日まで延べ19回総走行距離8000kmにも及び洞爺湖方面パトロールを実施。また、洞爺湖町で開催された「北海道洞爺湖サミット50日前記念パレード」では、先導を務めさせて頂きました。

そのような活動が認められ、道警本部長、伊達警察署長、北海道洞爺湖サミット羊蹄山麓地域安全協会会長より、それぞれ感謝状を頂きました。



ハーレー警ら隊のパレード

ただただ、心を伝えたい。絆を大事にしたい。それが今の日本に一番欠けていることなのではないか？私の今までの経験を通じ感じたことを実行しているだけのことではありますが、隊員の皆さまは、私の心に賛同し、頑張ってくれております。

「とんぼ隊」・「北海道ハーレー警ら隊」両隊の隊員の皆さまに心から感謝と敬意を表しますととも



ハーレー警ら隊の仲間たち

に、活動を暖かく見守ってくださっている皆さま、協力頂いている皆さま、そして、私を理解し支えてくれている家族・従業員にこの場を借りて深く感謝する次第であります。

時代は便利に変わっても、心だけは昔のままで、“絆”を大切にこれからも頑張ってまいりますので、とんぼ隊・ハーレー警ら隊を見かけましたら、気軽に声を掛けて頂きたいと思えます。

昨年、とんぼ隊とハーレー警ら隊では、老人向け振り込め詐欺防止の紙芝居「甘い話の落とし穴」・子ども向け「いかのおすし」の紙芝居を屯田在住の和田様をお願いし作成致しました。これらの紙芝居を貸出致しますので、活用してみたいと思う方は、是非ともご連絡頂ければと思います。

また、イベント等でハーレー警ら隊にお声掛け下されば、都合の付く限り参加させて頂きたいと思えますので、よろしくお願い致します。

活動の詳細につきましては、それぞれのホームページを参照下さい。

### とんぼ隊ホームページ

<http://www.tonbotai.com/>

### 北海道ハーレー警ら隊ホームページ

<http://www9.plala.or.jp/harleyHHK/>



皆さんのアクセスをお待ちしています